



森のなかま

2022年 12月号

NO. 174 (継続319号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 佐藤 恭平
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

かわさき市民祭り<街頭キャンペーン>

日時 令和4年11月4-6日

場所 川崎市川崎区 富士見公園（川崎競輪場・西スタンド1F）



<記 森本 正信⑤ 写真 11/4 松本 保⑩ 11/5,6 宮下 修一⑩>

3年振りに帰ってきた「かわさき市民祭り」。フルスペックではないが嬉しい。加えて今年は、初めての1F出店・トイレ脇となり、好立地でありがたかった。

以前の人気コンテンツである「どんぐりクラフト」が叶わず、「シロバッタ」で勝負。幸い、本物みたいリアルねえ・・・という声もあり、代替が出来て助かった。定番の丸太切りも好評で、いい「水源林キャンペーン」となったものと思います。



準備風景

11/4



会場全景

11/6

受付の様子



11/5

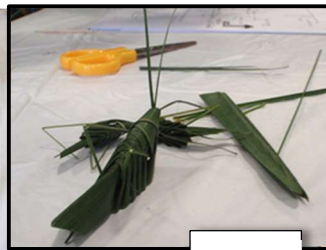
緑の募金



11/6



11/5



11/4

シュロバッタ



11/5



11/4

丸太切り



11/5



11/5

水源涵養実験

参加日	参加者数	財団	インストラクター
11月4日	78	南橋様	L 森本⑤、高橋③、安部⑤、鈴木⑤、小野⑦、草野⑧、村井⑨、青木⑩、松本⑪、江頭⑬
11月5日	156	倉野様	L 森本⑤、高橋③、安部⑤、鈴木⑤、武本⑦、草野⑧、村井⑨、青木⑩、小笠原⑩、角田⑩、宮下⑩、長尾⑪、松本⑪、大原⑬
11月6日	169	藤本様	L 森本⑤、島岡③、相馬⑤、安部⑤、武本⑦、山崎⑦、草野⑧、中島⑨、青木⑩、角田⑩、宮下⑩、長尾⑪、松本⑪、江頭⑬

他 11/4～6 シュロバッタ応援：師井 様（草笛講師）

やどりき事業部 植物班

「雨山峠」 フォッサマグナ要素の植物観察

日時:2022年9月4日(日) 9時~15時30分

参加者: L水口⑨、滝澤⑤、女川⑨、上宮田⑪、石垣⑬、計5人

< 記 写真 水口 俊則⑨ >

久々の雨山峠までの植物調査です。数日前までの雨で心配された寄沢の水量は何とか収まっているようで、とにかく行けるとこまで行こうということで、いざ出発です。沢を何度も右・左に渡り、登山道をリボンを探しながら前進です。ここ数年



カエンダケ

年の大雨で経路はかなりダメージを受けていました。途中の休憩場所では、「キオン」が大木の陰に一株、ひっそりと咲く姿に出会えました。更に登り進め最初のブナを過ぎたあたりでは、あの猛毒のカエンタケがあちこちに。近くには確かにナラ枯れ被害もみかけられ、恐ろるべしです。



キオン

さて、今回の目的であるフォッサマグナ要素の植物では「ハンカイシオガマ」(実)、「タテヤマギク」(花)、「ヒトツバショウマ」(花終わり)も健在で、「ハコネハナヒリノキ」(蕾)、「イワシャジン」(蕾)はこれから花を咲かせようとしていました。

足元の地質が花崗岩風にかわり、狭い谷間に入っていくと、うれしいことにお目当ての「シラヒゲソウ」(花)が出迎えてくれました。目標地点の雨山峠では記念撮影後、おいしい昼食タイムです。下山は足早に進み、管理棟には日暮れ前の16時頃到着できました。やはり、登山道は以前より荒れ、貴重な植物などが流されてしまっているのが確認されたのはとても残念でした。メンバーの中には年齢体力的にこれが最後と頑張って参加していただいた方がおられましたが、他のメンバーより足取りが軽くまだまだ！といった感じです。ぜひ、来年も参加いただければと言う思いで一杯です。



ハコネハナヒリノキ (実)



ハンカイシオガマ (蕾)



雨山峠で昼食



シラヒゲソウ



タテヤマギク

やどりき事業部

植物班 キノコ観察研修

講師：島岡さん③

日時：2022年10月2日(土) 9時30分～15時

参加者：L 水口⑨、相馬⑤、滝澤⑤、森本⑤、内野⑨、松本⑪、上宮田⑪、笠原⑭、
鶴井⑮、飛田⑮

計10人

< 記 写真 水口 俊則⑨ >

毎年、この時期にやどりき事業部「植物班」主催でインストラクター全メンバーを対象に、キノコ観察研修を実施しています。ここしばらくは雨もなくキノコをみかけることも少なかったため、当日はとても心配されましたが、参加者みんなで目をこらせば次々とキノコがみつき、参加者からの質問に講師の島岡さんも大忙しでした。まずは広場でキノコの基礎について説明していただき、最初は広場横の鹿よけフェンス内でキノコ探しです。か

わいいベニチャワンダケモドキ、 フウセンタケの仲間など多数みられました。



観察風景



ベニチャワンダケモドキ



ウスフジフウセンタケ

その場で同定は難しいものは、キノコのカサの表裏、柄などいろいろな角度から写真を撮り、後で講師に同定してもらうことになりました。その後林道コースへ。いきなりドスン！という音がして何かと思いきや、足元に超特大のアケビの実が。すでに中はあまりいい状態で無く、ごちそうにありつけませんでしたが、こんなこともあるのかと…。さて、さらに目を凝らすとエリマキツチグリの群生です。風船を軽くつつくと、胞子の煙がポッ！ポッ！と、ついそのかわいらしさに夢中になってしまいました。（本来は、雨粒が当たることで、ふうせんがたたかれ、胞子を飛ばす様です）



サマツモドキ？



トリコロモフシス



落ちてきた大きなアケビの実



エリマキツチグリ

Bコースではカラカサタケの立派な姿を1本をみつけ大喜び。また、特徴もしっかり勉強しました。帰路ではアオギリの種子が心皮に着いた状態で落ちていました。このようにきれいな状態でみられるのは初めてでした。



Bコース、カラカサタケ



アオギリの心皮と種子

さて、天気も良くなりさわやかな秋風が通る広場での昼食は最高です！午後は、まずAコースを。めばしいものが見つけれない状態でしたが、メンバーが以前カラカサタケを見た記憶をたどり、一步奥を歩いていたら、眼下にカラカサタケを見つけたぞ！と、危なげな崖を下り3本ゲットです。カサの径がそれぞれ18cm.15cm.13cm 大物ぞろいで歓声が響く中、記念撮影をしました。ごちそうになる部分以外の柄は地中に戻し、来年も会えるようお願いしました。最後の秦野峠林道ではハチの仲間の冬虫夏草、オオカマキリの卵しょうも見られました。



この観察会ではキノコは約30種ほど観察されました。講師島岡さん、ありがとうございました。カラカサタケをご馳走になった方も、

晩酌の肴に会話も弾んだことと思われます。

Aコース、特大カラカサタケ



オオカマキリの卵しょう



ハチ？の仲間の冬虫夏草（ポーベリア バシアーナ）

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

日本人の日常的な食生活は戦後大きく変わりました。主食であったお米の消費量が減少し、パンや肉類を多くとる洋食へと変化しています。そのような中でも野菜をとる習慣は引き継がれているようです。というよりもビタミンやミネラルを豊富に含み繊維質に富む野菜は現代病にかかるのを避けるのにもよいとされ食事に野菜を多くとることが以前にもまして推奨されているのです。野菜を多く食することで心臓病や脳卒中にかかる率が低いとされています。野菜に多く含まれているカリウムは血圧を下げ、繊維質は血糖値の上昇を抑えるので、生活習慣病の予防に良いとされています。ほかにも抗酸化作用のある成分を含む野菜類も多いので老化防止にもなります。

野菜を多くとることが体調を整えてがんの発生を抑制するとも言われています。それも身近な野菜にそのような効果があるのです。なかでもネギ属のなかまにそのような働きがあることが疫学的に知られています。

ネギ属植物と言えば、ネギ、タマネギ、ニラ、ニンニク、ラッキョウなど、においの強い植物がありますが、その強いにおいは有機イオウ化合物によるものです。そしてそのような成分ががんの抑制に関係していることが多いのです。



ニンニク

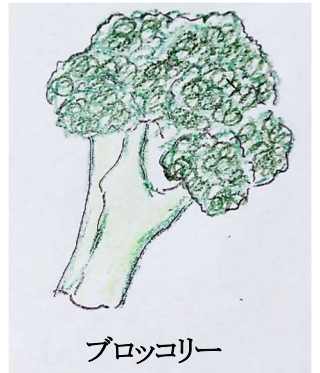
植物からがんの抑制に効果のある物質を探すにはがん細胞に植物抽出物を添加するか、マウスなどの動物にがん細胞を接種して、その後植物抽出物を投与してがん細胞の増殖抑制をみることから始めます。

タマネギは血液の流れを良くするので動脈硬化によいと言われていますが、タマネギに含まれるいくつかの有機イオウ化合物にはマウスに

第48回 身近な野菜にも がんを抑えるものが 東京大学名誉教授 谷田貝 光克 氏

接種した肝細胞がんに対して増殖抑制効果があることが確かめられています。さらにその働きはイオウ化合物に加え、いくつかのフェノール類によるものであることも分かっています。

アブラナ科の野菜類にもがんを抑制する働きを持つものがあります。アブラナ科の野菜と言えばワサビ、ブロッコリー、からし菜などがありますが、グルコシノレートというワサビなどの辛味のもとになる成分を含んでいます。グルコシノレートはカラシ油配糖体とも呼ばれている成分ですが、酵素によってイソチオシアネートという辛味成分になります。



ブロッコリー

ワサビの鼻をつく強い香りです。そしてイソチオシアネートががん細胞の活性を抑えることが分かっています。ワサビの根だけでなく葉にもカラシ油配糖体は含まれていますので葉を一晩塩漬けにしておくと辛味が出てくるのもそのためです。カラシ油配糖体はそれを含んでいる植物自体には無害ですが、草食動物が食害するとその衝撃で酵素が働き辛味成分になりますので草食動物からの食害を防ぐ働きがあるとも考えられています。

大根の新芽にもグルコシノレートは含まれていて、酵素によって作り出されるイソチオシアネートにはヒトの大腸がん細胞の増殖を抑えることが分かっています。

「良薬は口に苦し」と言いますが、ピリリと舌を刺激する辛さにも同じようなことが言えそうです。

ご紹介した例はがん細胞での研究結果で実際にヒトのがんでの結果ではありませんが、野菜を多くとることで知らず知らずのうちにがんを遠ざけていることになるかもしれません。

イラスト 広報 11 期長尾 (旧姓大塚) 晴子

活動短信

今回の掲載は R4 年 9 月 10 日から 10 月 11 日分です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

12 月(師走)(旧暦 11 月霜月)の 二十四節気と田んぼ(鎌倉)の様子

大雪 12/7 頃

本格的な冬、熊も穴籠りするころ。鎌倉では紅葉の盛りです。田んぼでは、畔修理などをします。

冬至 12/22 頃

昼がもっとも短くなる日。鹿の角が落ち、寒さが募りますが、麦が芽を出すころでもあります。

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ避けてください。改行等の処理に手間を要しますので写真もあれば添付ください。)

◆ 活動団体・活動名 等

日付(できれば時間と天気も)

場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参加者 人数

例 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合 XX 様

例 川崎市公園緑地協会・XX 様

 インストラクター① (○数字:期)  研修枠

以下、本文を概ね 400 字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者名もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ いすゞ自動車株式会社

枝打ち、木工工作活動

日 令和 4 年 9 月 10 日(土) 10:00~13:00 曇り-晴れ

場 足柄上郡松田町寄 やどりき水源林

参 16 名(大人 14 名 子ども 2 名)

県 水源環境保全課 水源事業 G 村松様 佐藤様

イ L 小野⑦、上田 ⑩、山口⑪、上宮田⑪、河西⑮

いすゞ自動車様にとっては、コロナ禍により久しぶりの活動となりましたが、大人 14 名、子供 2 名が参加され、お子様連れのファミリーはクラフトと水生生物観察、それ以外の大人は成長の森(H19 年植林)の間



伐と経路整備を実施しました。9 時 50 分にオリエンテーションを終えると、ファミリー班と間伐班に分かれて活動開始。

クラフト&水生生物観察に参加したのは 2 歳と 4 歳のお子様をお持ちの 1 家族と事務局の石丸さん 合計 5 名でした。自己紹介の後、一日の流れをご案内し早速「葛」の茎をストローにしたシャボン玉遊びでみんなの輪をつくりました。また、丸太切りで汗を流し、切り落としたコースターと杉の葉で作ったリースに松ぼっくりや木の実を思い思いにボンドで張り付けました。このころから 4 歳のユウタ君は生き生きと活発になり 次は何をするの! と興味津々。ボンドが乾く時間を利用し、さあいよいよ水生生物観察に出かけるよ〜と声を掛けると、ピッタリとついて来てくれました。5 人で滝郷の滝まで散策、木伝導体験の後、生物を採取し広場のテーブルで観察会をしました。プラナリアやカゲロウの仲間を見つけ、きれいな水に棲む生き物の特徴や水の大切さを共有しました。

一方間伐班は倉庫前で道具を受け取り、身支度を整え、成長の森へと移動しました。気温は少し高めでしたが、熱中症を心配するほどではなく、セミの声と溪のせせらぎを聞きながら渡渉して現地入り。現場は H19 年にカツラを主体に植樹されており、成長に伴い樹冠が込み合って薄暗くなっていました。カツラの落ち葉の甘い香りに包まれた 2 か所の植林地に二手に分かれて作業に入りました。間伐対象となったカツラの直径は 10cm ほど。皆さん、枝打ち鋸を用いて、安全に気をつけながら丁寧に伐倒し、玉切りにしていきました。1 時間ほどで予定の間伐と玉切りは完了し、玉切りした材は後で利用できるよう、それぞれのエリアで一か所に集めました。参加者の皆さんからは「林内が明るくなった」と感想が出ました。その後、作業道を少し上った場所で経路整備を行いました。作業道脇に 8 本ほど等間隔に杭を打ち、その脇の経路を唐鍬で整地しました。次いで間伐、玉切りされた杉を杭に沿って並べ、杉の葉と枝で隙間を埋めて完成、格段に歩きやすくなりました。作業で一汗流してリフレッシュした笑顔で帰路につきました。作業は安全に終わることができましたが、事前のヒル除け対策にも関わらず被害に遭われた方が一名おりました。

「ヒルさえいなければね〜」という感想も頂戴しましたが、広場周辺でお昼ごはんを食べ、皆さん笑顔で帰路



につきました。小さなお子様も大人も非日常を体験し大満足の日だったようです。

(記 上宮田 幸恵①)

写真 上宮田 幸恵① 河西 静夫⑤)

◆ 鎌倉市「緑のレンジャー・シニア」 講座(第 5 回)「公園・緑地の巡回」

日 令和 4 年 9 月 10 日(土) 10:00~12:00 晴れ

場 鎌倉市 散在ガ池森林公園

参 22 名(男性 12、女性 10)

スタッフ 鎌倉市公園協会 2 名

イ L 女川⑨、安部⑤、水上⑬

活動内容は、「森林公園を巡回しながら植生について学び公園・緑地の管理上の問題点等を考える。」こと、および「次回講座で「枝払い・間伐」を行う木を選定する。」こと。

巡回は、多人数のため、逐次説明はせず、集合可能な数カ所でまとめて観察・説明する方式とした。湖畔では公園樹として植栽されたソメイヨシノの劣化診断や周辺樹木、"馬の背の小径"では明るい稜線の植生やナラ枯れ、"のんびり小径"では森林の階層構造とその構成植物等について観察し解説した。

インスト 2 名は、早めに選木予定地へ。被害木処理等が実施されて粗な林内の状況を調べ、あらかじめ伐採可能な樹木を把握した。今回の作業は 3 班体制で枝払い、間伐をする方針とした。植生の観察を終えた受講生が選木予定地に到着。選木に当たって、公園管理の観点から、枯損木、景観、林内密度等の考えを説明した。園路の上部斜面に十分離れて 2 班、下部に 1 班ということで伐採予定木を選木していただき、各班で 2 本にテープを。園路を下り湖畔に。とりまとめ、活動終了後の安全・健康状態の確認等を行って終了。

(記 水上 正昭⑬)

◆ 横浜市立川島小学校 間伐体験

日 令和 4 年 9 月 27 日(火) 9:45~12:30 曇り

場 長竹承継分収林

参 89 名(大人 8 名、子供 5 年生 2 クラス 81 名)

財 豊丸課長、古舘様

イ L 佐藤⑤、小野⑦、斎藤⑧、野牛⑧、山口⑪、徳岡⑪、松本⑪、西出⑫、松石⑬、岩田⑭、牧石⑭、石垣⑮、角石⑮

今日はほぼ予定時刻にはるか遠くにバスの姿が見えたが、遠くから生徒達が歩いて来たことで早くもスケジュールにずれが生じ、用具を持って出かける時点で

コースター作りは中止に決定、森林講話を含めて約 1 時間半の間伐体験となった。

長竹の現場は間伐が進み、残された間伐対象が径路から離れた場所になっていたり、傾斜がきついなど作業環境が厳しい状況になってきている。本日の安全目標は生徒達の動向に重点をおき「周囲の確認」とした。

道具を身に着けた班から順次出発、現地では間伐の必要性や作業手順の説明、インストが伐倒方向の決定やロープ掛け、間伐鋸による受け口の最初の切り込みを入れたあと、生徒達が間伐鋸を使って木を伐る活動にかかった。最初はぎごちなかった動作も繰り返しているうちに上手になる子が多く見られた。ロープを引いて木を倒した際の歓声が数カ所から聞こえた。

今日はヒルが殆んどいなかった班と多かったという班とがあったが、ヒル被害で大騒ぎになることはなかった。また、作業エリアが急斜面で大変だったとの声が多かったが無事に活動を終えた。帰りの時間が少し遅くなってしまったが、間伐作業にじっくりと向き合うことが出来たものと思われた。

(記 佐藤 武晴⑤)

かながわしずくちゃん Facebook は下記 URL で見ることができます。

かながわの水環境の
保全・再生をめざして

https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku

◆ 第 10 回 県民参加の森づくり(枝打ち)

日 令和 4 年 9 月 28 日(水) 7:50~15:20 晴れ

場 箱根町畑宿(県有林)

参 68 名(うち中学生 10 名)

財 倉野様、藤本様

看 佃様

イ L 黒川⑭、柏倉④、野牛⑧、小笠原⑩、内野⑨、石川⑫、小松⑭、上宮田⑪、牧石⑭、角石⑮、鈴木⑭、石垣⑮、岡村⑯、大友⑯、久次米⑯、小林⑯

曇りの天気予報でしたが当日は、秋晴れとなり森林ボランティア日和となりました。

参加者は 68 名/5 班で各班 13 名から 15 名となり、伊勢原にある自修館という中高一貫校から中学生 10 名が各班に分かれて参加しました。今回の作業で枝打ちする杉は少花粉杉 10 年生で、枝打ち前の杉林は見通しがきかず、真暗で、切った枝で足元が悪いことから安全のポイント「足元注意」となりました。初参加者を中心

に、ノコギリの使い方から、枝打ちの際の注意事項など各班ごとに指導し、1 時間半ほどの作業で、合計約 1000 本の枝打ちをすることが出来ました。



参加者からは「明るくなって風通しが良くなった」「達成感があり楽しかった」「次回は妻と一緒に参加したい」など、うれしい感想を聞くことが出来ました。

作業後は、バスで箱根高原ホテルへ移動し、昼食と温泉で汗を流し、15 時過ぎに小田原駅に戻りました。

(記 角石 正明^⑮ 写真 黒川 敏史^⑭)

◆ 神奈川県水道記念館 水源林保全体験

日 令和 4 年 10 月 1 日(土) 10:45~14:45 晴れ

場 県立 21 世紀の森

参 大人 3 名 子供 3 名

スタッフ 水道記念館 北村様他 2 名

看 青木様

21 世紀の森 弘島様

イ L 滝澤^⑤ 石垣^⑮

秋晴れの空の下、小学生男子 3 名(9 歳 2 名・7 歳 1 名)を含む 2 家族 6 名の方が揃いました。本日の作業となる竹林状況を説明後、装備を整え、老朽化した木橋を渡りマダケが密生する斜面に到着。

伐り方・枝処理の仕方を実演した後に、家族ごと 2 班に分かれて作業開始です。「達成感がほしい!」と声を上げた男の子は、太めの竹にチャレンジ。きちんと地際から 2 方向に鋸を入れ見事伐採。



父と子・力を合わせての玉切りにお母さんは枝払いと強力タッグで 3 本を処理。もう一家族は父と兄弟で協力し先ず 1 本。その後、お父さん組とインストラクター組に分かれて伐り出し・処理まで熱心に取組み兄弟共に鋸使いも上達。4 本を伐り終えました。帰途は林道に出て成長の森を周り、鹿柵や植栽の様子を見学。

午後はマイ箸作りです。21 世紀の森職員の方の指導を

受け、皆さあ初めてのカンナ使いとは思えない見事な仕上がりとりました。子供達は、檜の香り高いカンナ屑を「おみやげに」と全員分集めて袋に詰め嬉しそうにニコニコ顔。

最後に展示室で森の役割や森林整備の工程などを説明後、終了となりました。

(記 石垣 桃栄^⑮ 写真 滝澤 洋子^⑤)

◆ 横浜市立豊岡小学校 「豊岡小の樹木に親しもう」

日 令和 4 年 10 月 11 日(火) 14:30~15:30 晴れ

場 横浜市立豊岡小学校校庭

参 教師 3 名 小学生 20 名

イ L 石垣^⑮ 大友^⑮ 佐藤^⑮

青空の下 週末の運動会に向けた練習を終えた校庭に 4.5.6 年生「アウトドアクラブ」20 名のメンバーが揃いました。今回と来月の 2 回行い、目標は「校庭の樹木名プレート作成」です。

第 1 回目：いつも過ごしている校庭での活動ですが、親しんだ空間にどんな発見があるのかを探す 1 時間です。まず最初に、五感をフル活用してのビンゴゲームの説明をし、その表と校内白地図を持ち 3 班に分かれ、さあ出発です。

今まで見ていただけの木々に実際に触れ、チクチク・つやつや等々を感じます。「うわっ、トゲ痛い!」「この木、ギザギザと丸、両方の葉っぱがあるよ」の声を上げながらミニ探検隊は進み、

ナツメの木には「夏目漱石のナツメ!」と思わぬ文豪の名前が飛び出しました。

校内探索の後「思ったよりたくさんの木があった」「知らない木が多い」等々の感想を述べた後、終了となりました。来月その木々を表す作業へ向け、実際に体感する時間を過ごしました。(記 石垣 桃栄^⑮)



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>




かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体でも取組んでいます。全国で 5 番目/NPO 法人で初めて委嘱されています。

やどりき水源林ミニガイド

「森の案内人」

12-2 月は「森の案内人」はお休みです。

やどりき水源林ニュース 11.月号 発行しました。



やどりき水源林は実りの秋たけなわ！



「秋の花にも会えました。」



<http://www.forest-kanagawa.jp/4field/news/news200.pdf>

イベント情報



- 開催日：令和 4 年 12 月 10 日（土） 雨天中止（前日 18 時までにご連絡下さい）
- 申込締切：11 月 30 日（水） 定員：30 名（先着順）
- 参加費：¥1,000 大人のみ（当日徴収します）お子様無料（保険代含む）
- 場 所：やどりきバス停～三郷部林道～やどりき水源林（足柄上郡 松田町 寄）
- 集 合：
 - ◇ 電車でお越しの方：小田急線新松田駅（北口）：9 時 30 分（バス発車 9 時 40 分）バス代 片道 520 円（新松田バス停の北口で往復切符を購入：940 円）
 - ◇ マイカーでお越しの方：やどりきバス停の無料駐車場に 10 時 10 分までにお越しください
- 持 物：昼食・飲み物・雨具

コース：寄バス停 ⇒ 三郷部林道 ⇒ やどりき水源林 ⇒ 昼食
(新付道) ⇒ x x x x x ⇒ 寄バス停 (解散)



- 申込み先：認定 NPO 法人 かながわ森林インストラクターの会
E-mail: k-inst0981@friend.ocn.ne.jp
- 問合せ先：TEL：090-9334-6037 (担当：上宮田 かみやた)
参加者全員のお名前、住所、電話番号を記入の上、メールでお申し込みください。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP 担当：大友 博道)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。
＜広報全般についてのお問い合わせ＞

黒川 敏史

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp
Tel：080-5477-2206

＜電子配信会員向け担当＞ 笠原

Mail: happy_kumakuma711@icloud.com

＜電子配信企業等パートナー様向け担当＞

柳澤 Mail: kshinrin_pr@icloud.com

＜メール・手書き原稿送り先＞

【本誌】黒川 敏史

Fax: 0467-46-8650

電話連絡先：080-5477-2206

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊】小林 照夫

Mail: tspocket17@gmail.com

原稿は随時受け付けています。

● やどりき水源林問合せ：

(公財) かながわトラストみどり財団

TEL：045-412-2255

FAX：045-412-2300

● ホームページ：<http://www.ktm.or.jp>

E-mail: midori@ktm.or.jp

★ドイツに劇的な逆転勝利で勝ち点 3 ポイントを得た森保 JAPAN は日本中に歓喜をもたらした。

試合の前日森保監督は「目の前の今が大事」が全てと述べた。

「シュートは打たなきゃ入らない」伊藤純也。「上手く行かないことが当たり前」久保建英。強い日本になった。(小林)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会

宛まで 2000 円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から 12 回/1 年間お届け致します。

編集後記

★狭い庭ですが、今年も柿（渋柿）がたくさんなりました。

甘くなると、メジロ、シジュウカラ、そしてヒヨドリが皆を追い払ってしまいます。大きな嘴で突つつかのでもまだたくさん果肉があるのに落としてしまいます。ほんとは干し柿にしたいのですが暖かい横浜では上手くできません。残念。(松本)

★諏訪大社の御柱祭は 7 年ごとに執り行われる。15m ものもみの木を切り出し、里を曳行し急坂を滑り落したり川を涉ったりして運び、上社・下社の四隅に立てて奉納する伝統行事だ。

10 月 2 日ミニ版御柱祭が 1925m 山頂の車山神社で行われた。地元の観光目的のイベントと思うが、7m のもみの木の山への曳行から立ち上げまで身近に見ることができ、行事の仕来りや林業関係者の所作を知るに良いスケールだと納得し楽しんだ。(中澤)

★白山順礼峠（飯山～七沢）を歩いて来ました。紅葉真っ盛りで、快晴の青い空の先に筑波山まで見えました。この時期は山ひるの心配はないですが猪の生息跡はあちこちにありました。(阿藤)

★今年もあとひと月。振り返ると、昨年 12 月県民参加栗木山王山で復帰し、3 月成長の森植樹会、4 月県民参加芹沢、5 月に NW エネオスと NW 学校 2 回、6 月に NW 学校 1 回、7 月県民参加荻窪を最後に、再発して治療生活。結局わずか半年だけのインストラクター活動でした。年明けには復帰したいのですが、ガンも虎視眈々と再々発を狙っているのが検査が続きます。敵ながらアッパレなしぶとさです(笑)。(竹内)

編集人：黒川 敏史

広報部：吉田郁夫 松本保 笠原かずみ

阿藤壽孝 長尾晴子 竹内明彦

柳澤千恵美 小林照夫 中澤良夫

支援：大原正志 江頭淑子